

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed in this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 2 年 9 月 2 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 2 - 2 5 6 2 9 3
Application Number:

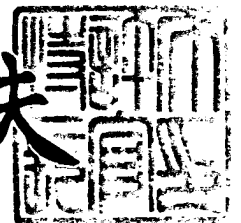
ST. 10/C] : [J P 2 0 0 2 - 2 5 6 2 9 3]

願 人 高 山 博 光
Applicant(s):

2 0 0 4 年 5 月 1 0 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 4 - 3 0 3 8 8 6 2

【書類名】 特許願

【整理番号】 P0209

【あて先】 特許庁長官 殿

【発明者】

 【住所又は居所】 北海道札幌市豊平区美園 9 条 8 丁目 4 - 1 3

 【氏名】 高山 博光

【特許出願人】

 【識別番号】 598017192

 【氏名又は名称】 高山 博光

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 187219

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 インタラクティブなバナー広告表示処理システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信ネットワークに結びつき、通信ネットワークを介しての情報をユーザーが閲覧するためのプログラム（以下、ブラウザプログラム）をもつ、ユーザーが操作するクライアント端末であるユーザーノードと、通信ネットワークに結びつき、前記ユーザーノードからの送信要求に応答して、前記ユーザーノードのクライアント端末の表示装置に、商品や企業活動などに関するホームページ（以下、広告主コンテンツ）を前記ブラウザプログラムが表示するための情報（以下、広告主コンテンツ情報）を送信するサーバー装置である広告主ノードと、通信ネットワークに結びつき、前記ユーザーノードあるいはユーザーを識別する値（以下、ユーザー ID）、前記広告主コンテンツを分類したカテゴリー（以下、広告カテゴリー）を識別する値（以下、広告カテゴリー ID）、前記ユーザーノードのクライアント端末の表示装置に前記ブラウザプログラムで表示され、前記広告主コンテンツとハイパーリンク機能でリンクする静止画あるいは動画（以下、バナー画像）を識別する値（以下、バナー ID）を用い、前記ユーザーノードからの送信要求に応答し、前記ユーザー ID ごとに選別した前記バナー画像の集まり（以下、ユーザー ID 別希望バナー画像）に含まれる前記バナー画像と、前記ユーザーノードのユーザーが前記広告カテゴリーを選択するためのインターフェイス（以下、広告カテゴリー選択インターフェイス）を含む画面表示内容の広告（以下、インタラクティブバナー広告）を、前記ユーザーノードのクライアント端末の表示装置に前記ブラウザプログラムで表示するための情報（以下、インタラクティブバナー広告情報）を前記ユーザーノードに送信するサーバー装置である広告サーバーノードより構成されるバナー配信システムにおいて、前記ユーザーノードは、ユーザーが前記広告カテゴリー選択インターフェイスを使用して前記広告カテゴリーを選択した結果の情報（以下、広告カテゴリー選択情報）に、前記広告サーバーノードが前記ユーザーノードの前記ユーザー ID を識別するため情報（以下、ユーザー識別情報）をつけて、前記広告サーバーノードに送信し、前記広告サーバーノードは、前記ユーザーノードから受け取った前記広告

カテゴリ選択情報をもとに前記ユーザーノードでユーザーが選択した前記広告カテゴリを特定し、その前記広告カテゴリに属する前記広告主コンテンツにハイパーリンク機能でリンクする前記バナー画像を集めたものを、前記ユーザーノードから送られてきた前記ユーザー識別情報を持ちいて特定した前記ユーザーIDと結びつけ前記ユーザーID別希望バナー画像とし、前記ユーザーノードが、前記ユーザー識別情報をつけて送信要求を前記広告サーバーノードに出したとき、前記広告サーバーノードは、前記ユーザー識別情報により前記ユーザーIDを特定し、それに対応する前記ユーザーID別希望バナー画像に含まれる前記バナー画像を含む前記インタラクティブバナー広告が前記ユーザーノードのクライアント端末の表示装置に前記ブラウザプログラムにより表示されるようにするための前記インタラクティブバナー広告情報を形成し、それを前記ユーザーノードに送信することにより、前記ユーザーノードのユーザーが、自らが選択した前記広告カテゴリに属する前記広告主コンテンツとハイパーリンク機能でリンクする前記バナー画像のみを受け取ることができ、また、前記広告カテゴリ選択インターフェイスを使って、自らが選択する前記広告カテゴリを変更することで、前記ユーザーID別希望バナー画像を変更し、受け取る前記バナー画像を変更できることを特徴とするバナー広告配信システム。

【請求項2】請求項1記載のバナー広告配信システムで、前記ユーザーID別希望バナー画像を前記バナーIDの集まりで示したもの（以下、ユーザーID別希望バナーID）を使用し、前記ユーザーノードからの送信要求があったとき、前記広告サーバーノードは、その際送られてくる前記ユーザー識別情報により特定した前記ユーザーIDにむすびついた前記ユーザーID別希望バナーIDから、設定した個数の前記バナーID（以下、送信バナーID）を抽出し、前記送信バナーIDに対応する前記バナー画像を含む前記インタラクティブバナー広告を送信要求を出した前記ユーザーノードのクライアント端末の表示装置に表示するための前記インタラクティブバナー広告情報を形成し、その際、同じ前記ユーザーノードからの繰り返しの送信要求に対して、前記送信バナーIDが前記ユーザーID別希望バナーIDから重複することなく順次選択されるようにして、前記ユーザーノードのクライアント端末の表示装置に、前記バナー画像が順次重複する

ことなく前記ブラウザプログラムで表示されるようにしたバナー配信システム。

【請求項 3】請求項 2 記載のバナー広告配信システムで、前記インタラクティブバナー広告が、ユーザーの操作で表示位置を移動できる単数の前記バナー画像を含む体様のもの。

【請求項 4】請求項 2 記載のバナー広告配信システムで、前記インタラクティブバナー広告が、ユーザーの操作で各々表示位置を移動し、互いに重なり合うことができる複数の前記バナー画像を含む体様のもの。

【請求項 5】請求項 3 記載のバナー広告配信システムで、前記インタラクティブバナー広告の体様が、画面構成要素を多層的に配置し、前記バナー画像が配置される層の下層に前記広告カテゴリ選択インターフェイスを配置したもの。

【請求項 6】請求項 3 記載のバナー広告配信システムで、前記インタラクティブバナー広告の体様が、前記バナー画像とともに表示される前記広告カテゴリ選択インターフェイスを表示するためのコントロールを含むもの。

【請求項 7】請求項 4 記載のバナー広告配信システムで、前記インタラクティブバナー広告の体様が、画面構成要素を多層的に配置し、前記バナー画像が配置される層の下層に前記広告カテゴリ選択インターフェイスを配置したもの。

【請求項 8】請求項 4 記載のバナー広告配信システムで、前記インタラクティブバナー広告の体様が、前記バナー画像とともに表示される前記広告カテゴリ選択インターフェイスを表示するためのコントロールを含むもの。

【請求項 9】請求項 5 記載のバナー広告配信システムで、前記インタラクティブバナー広告を更新表示するためのコントロール（以下、リロードボタン）を前記インタラクティブバナー広告内に配置して、ユーザーが繰り返し前記インタラクティブバナー広告を更新して、自分が選択した前記広告カテゴリにもとづく前記ユーザー ID 別希望バナー画像に含まれる前記バナー画像を次々と見ていくことを誘発するようにしたもの。

【請求項 10】請求項 6 記載のバナー広告配信システムで、前記リロードボタンを前記インタラクティブバナー広告内に配置して、ユーザーが繰り返し前記インタラクティブバナー広告を更新して、自分が選択した前記広告カテゴリにもとづく前記ユーザー ID 別希望バナー画像に含まれる前記バナー画像を次々と見て

いくことを誘発するようにしたもの。

【請求項 1 1】請求項 7 記載のバナー広告配信システムで、前記リロードボタンを前記インタラクティブバナー広告内に配置して、ユーザーが繰り返し前記インタラクティブバナー広告を更新して、自分が選択した前記広告カテゴリーにもとづく前記ユーザー ID 別希望バナー画像に含まれる前記バナー画像を次々と見ていくことを誘発するようにしたもの。

【請求項 1 2】請求項 8 記載のバナー広告配信システムで、前記リロードボタンを前記インタラクティブバナー広告内に配置して、ユーザーが繰り返し前記インタラクティブバナー広告を更新して、自分が選択した前記広告カテゴリーにもとづく前記ユーザー ID 別希望バナー画像に含まれる前記バナー画像を次々と見ていくことを誘発するようにしたもの。

【請求項 1 3】請求項 3 記載のバナー広告配信システムの前記インタラクティブバナー広告の体様が、前記ユーザーノードのユーザーが自分の発言を書き込むことができ、また、書き込まれた発言を閲覧することができる電子掲示板を含むもの。

【請求項 1 4】請求項 1 3 記載のバナー広告配信システムで、電子掲示板の各々の発言を指すアイコン（以下、発言アイコン）を使用して発言を空間的に表示し、各々の前記発言アイコンがユーザーの操作で表示位置を移動できるようにしたもの。

【請求項 1 5】請求項 4 記載のバナー広告配信システムの前記インタラクティブバナー広告の体様が、前記ユーザーノードのユーザーが自分の発言を書き込むことができ、また、書き込まれた発言を閲覧することができる電子掲示板を含むもの。

【請求項 1 6】請求項 1 5 記載のバナー広告配信システムで、前記発言アイコンを使用して発言を空間的に表示し、各々の前記発言アイコンがユーザーの操作で表示位置を移動できるようにしたもの。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明が属する技術分野】 この発明は、通信ネットワークを介してユーザーにバ

ナー広告を送信する技術およびユーザーからの要望を即座にバナー広告の内容に反映させる技術に関する。

【0002】

【従来の技術】従来のバナー広告は、広告送信側から無差別に送信されるか、あるいは、広告送信側が、個々のユーザーの特徴を判断してそれにあった広告を送信するものであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、以上の従来技術によるバナー広告は、通信ネットワークによる通信の基本的特長である即時の双方向性を生かしたのではなく、もっぱら広告送信側の利便を考えた広告送信側の意思に基づくものであった。個々のユーザーの特徴を判断して、それにあった広告を送信するといっても、それはあくまでも、広告送信側の判断に基づくものであり、またそのためにはユーザーのプライバシーに関する事項を広告送信側に提示するため、プライバシー流出の問題もあった。従来のバナー広告では、通信ネットワークでの情報収集手段の基本的特長である、ユーザーが主体的に情報を捜してゆくということが出来なかった。すなわち、ユーザーが、自分の希望したカテゴリーのバナー広告を次々に見て情報収集してくことは出来なかった。このことは、バナー広告に限らず、ユーザーが自分の希望する広告カテゴリーを選択できる電子メールを使った広告についても同じであり、そこでは、たとえ、ユーザーが、即座にさらなる広告情報を続けて受け取りたいと思っても、それはできなかった。つまり、通信ネットワークでの情報収集手段の基本的特長である、ユーザーが主体的に情報を捜してゆくということは、バナー広告に限らず、従来の広告では出来なかった。今日は、通信ネットワークの整備が進む中、新たな時代にふさわしい広告配信システムが期待されている状況にある。しかるに、従来のバナー広告は、通信ネットワークが出現する以前の広告のありかたを土台にした広告配信システムであり、マスメディアの広告配信と同じ論理の上に成り立ち、その論理の域を脱するものではなく、旧態依然としたものであった。

そこで、この発明は、通信ネットワークにおける広告とは、広告送信側の利便のみを考慮したものではなく、広告のもうひとつの側面、つまり、広告はユーザー

の情報収集手段のひとつでもあるという側面にも考慮して考案された。

そのために、この発明では、バナー広告と、ユーザーが自分の受け取りたい広告のカテゴリを選択するインターフェイスとを結合して一体化し、さらに、ユーザーが表示されているバナー広告を更新表示すると、ユーザーが希望したカテゴリに属する別のバナー広告が次々に表示されるようにして、広告の情報収集手段としての機能を充実させ、通信ネットワークにおける広告の2側面の利便、つまり、広告送信側の利便と、ユーザーの情報収集手段としての利便を、同時にもたらすバナー広告配信システムを構成することを課題とした。

また、さらに発展させ、以上のバナー広告と電子掲示板を一体化することで、電子掲示板が形成するユーザーコミュニティに向けバナー広告を送信し、ユーザーコミュニティに属するユーザーの利便を図ることを目的としたバナー広告配信システムを構成することを課題とした。

【0004】

【課題を解決するための手段】 以上の課題を解決するために、請求項1の発明は、通信ネットワークに結びつき、通信ネットワークを介しての情報をユーザーが閲覧するためのプログラム（以下、ブラウザプログラム）をもつ、ユーザーが操作するクライアント端末であるユーザーノードと、通信ネットワークに結びつき、前記ユーザーノードからの送信要求に応答して、前記ユーザーノードのクライアント端末の表示装置に、商品や企業活動などに関するホームページ（以下、広告主コンテンツ）を前記ブラウザプログラムが表示するための情報（以下、広告主コンテンツ情報）を送信するサーバー装置である広告主ノードと、通信ネットワークに結びつき、前記ユーザーノードあるいはユーザーを識別する値（以下、ユーザーID）、前記広告主コンテンツを分類したカテゴリ（以下、広告カテゴリ）を識別する値（以下、広告カテゴリID）、前記ユーザーノードのクライアント端末の表示装置に前記ブラウザプログラムで表示され、前記広告主コンテンツとハイパーリンク機能でリンクする静止画あるいは動画（以下、バナー画像）を識別する値（以下、バナーID）を用い、前記ユーザーノードからの送信要求に応答し、前記ユーザーIDごとに選別した前記バナー画像の集まり（以下、ユーザーID別希望バナー画像）に含まれる前記バナー画像と、前記ユー

ザーノードのユーザーが前記広告カテゴリーを選択するためのインターフェイス（以下、広告カテゴリー選択インターフェイス）を含む画面表示内容の広告（以下、インタラクティブバナー広告）を、前記ユーザーノードのクライアント端末の表示装置に前記ブラウザプログラムで表示するための情報（以下、インタラクティブバナー広告情報）を前記ユーザーノードに送信するサーバー装置である広告サーバーノードより構成されるバナー配信システムにおいて、前記ユーザーノードは、ユーザーが前記広告カテゴリー選択インターフェイスを使用して前記広告カテゴリーを選択した結果の情報（以下、広告カテゴリー選択情報）に、前記広告サーバーノードが前記ユーザーノードの前記ユーザーIDを識別するため情報（以下、ユーザー識別情報）をつけて、前記広告サーバーノードに送信し、前記広告サーバーノードは、前記ユーザーノードから受け取った前記広告カテゴリー選択情報をもとに前記ユーザーノードでユーザーが選択した前記広告カテゴリーを特定し、その前記広告カテゴリーに属する前記広告主コンテンツにハイパーリンク機能でリンクする前記バナー画像を集めたものを、前記ユーザーノードから送られてきた前記ユーザー識別情報をもちいて特定した前記ユーザーIDと結びつけ前記ユーザーID別希望バナー画像とし、前記ユーザーノードが、前記ユーザー識別情報をつけて送信要求を前記広告サーバーノードに出したとき、前記広告サーバーノードは、前記ユーザー識別情報により前記ユーザーIDを特定し、それに対応する前記ユーザーID別希望バナー画像に含まれる前記バナー画像を含む前記インタラクティブバナー広告が前記ユーザーノードのクライアント端末の表示装置に前記ブラウザプログラムにより表示されるようにするための前記インタラクティブバナー広告情報を形成し、それを前記ユーザーノードに送信することにより、前記ユーザーノードのユーザーが、自らが選択した前記広告カテゴリーに属する前記広告主コンテンツとハイパーリンク機能でリンクする前記バナー画像のみを受け取ることができ、また、前記広告カテゴリー選択インターフェイスを使って、自らが選択する前記広告カテゴリーを変更することで、前記ユーザーID別希望バナー画像を変更し、受け取る前記バナー画像を変更できることを特徴とするバナー広告配信システムである。

また、請求項2の発明は、請求項1記載のバナー広告配信システムで、前記ユ

ーザー I D 別希望バナー画像を前記バナー I D の集まりで示したもの（以下、ユーザー I D 別希望バナー I D）を使用し、前記ユーザーノードからの送信要求があったとき、前記広告サーバーノードは、その際送られてくる前記ユーザー識別情報により特定した前記ユーザー I D にむすびついた前記ユーザー I D 別希望バナー I D から、設定した個数の前記バナー I D（以下、送信バナー I D）を抽出し、前記送信バナー I D に対応する前記バナー画像を含む前記インタラクティブバナー広告を送信要求を出した前記ユーザーノードのクライアント端末の表示装置に表示するための前記インタラクティブバナー広告情報を形成し、その際、同じ前記ユーザーノードからの繰り返しの送信要求に対して、前記送信バナー I D が前記ユーザー I D 別希望バナー I D から重複することなく順次選択されるようにして、前記ユーザーノードのクライアント端末の表示装置に、前記バナー画像が順次重複することなく前記ブラウザプログラムで表示されるようにしたバナー配信システムである。

また、請求項 3 の発明は、請求項 2 記載のバナー広告配信システムで、前記インタラクティブバナー広告が、ユーザーの操作で表示位置を移動できる単数の前記バナー画像を含む体様のものである。

また、請求項 4 の発明は、請求項 2 記載のバナー広告配信システムで、前記インタラクティブバナー広告が、ユーザーの操作で各々表示位置を移動し、互いに重なり合うことができる複数の前記バナー画像を含む体様のものである。

また、請求項 5 の発明は、請求項 3 記載のバナー広告配信システムで、前記インタラクティブバナー広告の体様が、画面構成要素を多層的に配置し、前記バナー画像が配置される層の下の層に前記広告カテゴリー選択インターフェイスを配置したものである。

また、請求項 6 の発明は、請求項 3 記載のバナー広告配信システムで、前記インタラクティブバナー広告の体様が、前記バナー画像とともに表示される前記広告カテゴリー選択インターフェイスを表示するためのコントロールを含むものである。

また、請求項 7 の発明は、請求項 4 記載のバナー広告配信システムで、前記インタラクティブバナー広告の体様が、画面構成要素を多層的に配置し、前記バナー

画像が配置される層の下の層に前記広告カテゴリー選択インターフェイスを配置したものである。

また、請求項 8 の発明は、請求項 4 記載のバナー広告配信システムで、前記インタラクティブバナー広告の体様が、前記バナー画像とともに表示される前記広告カテゴリー選択インターフェイスを表示するためのコントロールを含むものである。

また、請求項 9 の発明は、請求項 5 記載のバナー広告配信システムで、前記インタラクティブバナー広告を更新表示するためのコントロール（以下、リロードボタン）を前記インタラクティブバナー広告内に配置して、ユーザーが繰り返し前記インタラクティブバナー広告を更新して、自分が選択した前記広告カテゴリーにもとづく前記ユーザー ID 別希望バナー画像に含まれる前記バナー画像を次々と見ていくことを誘発するようにしたものである。

また、請求項 10 の発明は、請求項 6 記載のバナー広告配信システムで、前記リロードボタンを前記インタラクティブバナー広告内に配置して、ユーザーが繰り返し前記インタラクティブバナー広告を更新して、自分が選択した前記広告カテゴリーにもとづく前記ユーザー ID 別希望バナー画像に含まれる前記バナー画像を次々と見ていくことを誘発するようにしたものである。

また、請求項 11 の発明は、請求項 7 記載のバナー広告配信システムで、前記リロードボタンを前記インタラクティブバナー広告内に配置して、ユーザーが繰り返し前記インタラクティブバナー広告を更新して、自分が選択した前記広告カテゴリーにもとづく前記ユーザー ID 別希望バナー画像に含まれる前記バナー画像を次々と見ていくことを誘発するようにしたものである。

また、請求項 12 の発明は、請求項 8 記載のバナー広告配信システムで、前記リロードボタンを前記インタラクティブバナー広告内に配置して、ユーザーが繰り返し前記インタラクティブバナー広告を更新して、自分が選択した前記広告カテゴリーにもとづく前記ユーザー ID 別希望バナー画像に含まれる前記バナー画像を次々と見ていくことを誘発するようにしたものである。

また、請求項 13 の発明は、請求項 3 記載のバナー広告配信システムの前記インタラクティブバナー広告の体様が、前記ユーザーノードのユーザーが自分の発言

を書き込むことができ、また、書き込まれた発言を閲覧することができる電子掲示板を含むものである。

また、請求項 14 の発明は、請求項 13 記載のバナー広告配信システムで、電子掲示板の各々の発言を指すアイコン（以下、発言アイコン）を使用して発言を空間的に表示し、各々の前記発言アイコンがユーザーの操作で表示位置を移動できるようにしたものである。

また、請求項 15 の発明は、請求項 4 記載のバナー広告配信システムの前記インタラクティブバナー広告の体様が、前記ユーザーノードのユーザーが自分の発言を書き込むことができ、また、書き込まれた発言を閲覧することができる電子掲示板を含むものである。

また、請求項 16 の発明は、請求項 15 記載のバナー広告配信システムで、前記発言アイコンを使用して発言を空間的に表示し、各々の前記発言アイコンがユーザーの操作で表示位置を移動できるようにしたものである。

【0005】

【発明の実施の形態】 この発明の一実施形態を、図面に基づいて説明する。

【0006】

図 1 は、本バナー広告配信システムの構成を示す図である。

ユーザーノードは、ユーザーが操作するクライアント端末 2 と、クライアント端末 2 の上で動作する情報閲覧プログラムであるブラウザプログラムをもつ。

広告主ノードは、ユーザーノードに広告主コンテンツ情報を送信するためのサーバー 3 をもつ。広告主コンテンツ情報は、ユーザーノードのブラウザプログラムで処理され、クライアント端末 2 に表示される広告主の企業活動や商品などに関する情報である広告主コンテンツになる。

広告サーバーノードは、ユーザーノードにインタラクティブバナー広告情報を送信するためのサーバー 1 をもつ。

インタラクティブバナー広告情報は、ユーザーノードのブラウザプログラムで処理され、クライアント端末 2 に表示されるインタラクティブバナー広告になる。

広告サーバーノード、ユーザーノード、広告主ノードは、各々、通信ネットワークであるインターネット 4 に連結している。なお、通信ネットワークを、インタ

ーネット 4 以外の通信網、例えば、イントラネットや、CATV 用の光ケーブル網や、一般の WAN など他の通信ネットワークとしてもよい。また、その方式は有線方式でも無線方式でも、また、有線、無線を混在させたものでもよい。

ユーザーノードのクライアント端末 2 は、パソコンでも、携帯電話でも、PDA でも、通信ネットワークに結びつく機能をもったテレビでも、通信ネットワークに結びつく機能をもったゲーム機と接続したテレビでも、また銀行などの ATM 機でもよく、またその他のものでもよい。

【0007】

図 2 は、請求項 11 記載のバナー広告配信システムのユーザーノードの端末機に表示されるインタラクティブバナー広告の一構成例を示す図である。

ウィンドウあるいはフレームあるいはインラインフレーム 5 に、インタラクティブバナー広告を構成する要素は多層的に配置されている。バナー画像 6 は重なり合って表示され、ユーザーの操作で位置移動ができる。バナー画像 6 は静止画でも動画でもよい。

バナー画像 6 の背面に、リロードボタン 7、広告カテゴリー選択インターフェイス 8 が表示される。バナー画像 6 を位置移動させると、リロードボタン 7、広告カテゴリー選択インターフェイス 8 を利用しやすくなる。

この実施例では、広告カテゴリー選択インターフェイス 8 はチェックボックスを使用して選択するようになっているが、ほかの形式でもかまわない。また、直接、広告カテゴリーを選択するようになっているが、他の方式、たとえば、ユーザーの特徴を入力して、それをもとにプログラムが広告カテゴリーを自動的に選定するような方式を用いてもよい。

バナー画像 6 をクリックするとそのバナー画像 6 に対応する広告主コンテンツにジャンプする。その際、広告主コンテンツは、インタラクティブバナー広告が表示されているウィンドウあるいはフレームあるいはインラインフレーム 5 に表示してもよいし、別ウィンドウ、別フレームに表示してもよい。

この場合、バナー画像 6 を、必ずしも最初から重なり合わせて表示する必要はない。また、バナー画像 6 の個数は自由に設定できる。

バナー画像 6、リロードボタン 7、広告カテゴリー選択インターフェイス 8 や他

の画面表示構成要素の重なり具合や配置は、デザインに応じて変更することもできる。また、必要に応じて、リロードボタン 7 がユーザーの操作で位置変更できるようにすることもできる。

この例は、パソコンの画面に表示された場合の例であるが、携帯電話、PDA、テレビ、ATM機など他の端末機の画面に表示する場合もあり、それに依拠て表示内容も変化させる。

【0008】

図 3 は、請求項 1 2 記載のバナー広告配信システムのユーザーノードの端末機に表示されるインタラクティブバナー広告の一構成例を示す図である。

ウィンドウあるいはフレームあるいはインラインフレーム 5 に、インタラクティブバナー広告を構成する要素は多層的に配置されている。バナー画像 6 は重なり合って表示され、ユーザーの操作で位置移動ができる。バナー画像 6 は静止画でも動画でもよい。

バナー画像 6 の背面に、リロードボタン 7、広告カテゴリー選択インターフェイス 8 を表示させるためにコントロール 9 が表示される。バナー画像 6 を位置移動させると、リロードボタン 7、広告カテゴリー選択インターフェイス 8 を表示させるためのコントロール 9 を利用しやすくなる。

バナー画像 6 をクリックするとそのバナー画像 6 に対応する広告主コンテンツにジャンプする。その際、広告主コンテンツは、インタラクティブバナー広告が表示されているウィンドウあるいはフレームあるいはインラインフレーム 5 に表示してもよいし、別ウィンドウ、別フレームに表示してもよい。

この場合、バナー画像 6 を、必ずしも最初から重なり合わせて表示する必要はない。また、バナー画像 6 の個数は自由に設定できる。

バナー画像 6、リロードボタン 7、広告カテゴリー選択インターフェイス 8 を表示させるためのコントロール 9 や他の画面表示構成要素の重なり具合や配置は、デザインに応じて変更することもできる。また、必要に応じて、リロードボタン 7、広告カテゴリー選択インターフェイス 8 を表示させるためにコントロール 9 がユーザーの操作で位置変更できるようにすることもできる。

この例は、パソコンの画面に表示された場合の例であるが、携帯電話、PDA、

テレビ、ＡＴＭ機など他の端末機の画面に表示する場合もあり、それに応じて表示内容も変化させる。

【０００９】

図４は、図３の画面から、広告カテゴリー選択インターフェイス８を表示させるためのコントロール９を使用して広告カテゴリー選択インターフェイス８を表示する流れを示す図である。図３の画面の広告カテゴリー選択インターフェイス８を表示させるためのコントロール９をクリックすることで広告カテゴリー選択インターフェイス８は表示される。この図の場合は、広告カテゴリー選択インターフェイス８は、図３の画面が表示されるウィンドウあるいはフレームあるいはインラインフレーム５とは別のウィンドウ１０に表示されるが、図３の画面と同じウィンドウあるいはフレームあるいはインラインフレーム５あるいは別のフレームに表示してもよい。この場合の広告カテゴリー選択インターフェイス８を表示させるためのコントロール９はボタン式でクリックすることで作動するが、他の形式のコントロールを用いてもよい。

この実施例では、広告カテゴリー選択インターフェイス８はチェックボックスを使用して選択するようになっているが、ほかの形式でもかまわない。また、直接、広告カテゴリーを選択するようになっているが、他の方式、たとえば、ユーザーの特徴を入力して、それをもとにプログラムが広告カテゴリーを自動的に選定するような方式を用いてもよい。

【００１０】

図２、図３および図４のインタラクティブバナー広告は、ＨＴＭＬドキュメントにスクリプト言語を組み込んで実現してもよいし、他の方法、たとえば、`java`言語によるアプレットやフラッシュ動画などを用いて実現してもよいし、その他の方法で実現してもよい。

【００１１】

以下、図５、図６、図７、図８、図９を用いて、本発明で、ユーザーノードからの広告カテゴリー選択情報が広告サーバーノードで処理され、ユーザーＩＤごとに送信バナーＩＤが選出され、それをもとに、ユーザーＩＤごとにインタラクティブバナー広告情報が形成される過程、および、その際に、ユーザー識別情報が

らユーザー I D を特定する手順の一実施例について説明する。

図 5 は、広告カテゴリー I D と、それに対応する広告カテゴリーに属する広告主コンテンツにハイパーリンク機能でリンクするバナー画像 6 を集めたものをバナー I D を使って示した情報（以下、カテゴリー別バナー I D）を、データテーブルを形成して保存したもの（以下、カテゴリー別バナーデータ）を示す図である。前記カテゴリー別バナーデータの構成は変えてもよい。

1 1 は前記カテゴリー別バナーデータを保存した記憶装置であり、広告サーバーノードが利用する。

【 0 0 1 2 】

図 6 は、ユーザー I D と、それに対応するユーザー識別情報、ユーザー I D 別希望バナー I D、バナー I D で示した制御用情報（以下、選出済バナー I D）を、データテーブルを形成して保存したもの（以下、ユーザー別バナーデータ）を示す図である。

ユーザー I D 別希望バナー I D、前記選出済バナー I D はバナー I D を区切り文字で連結した文字列のかたちで保存されている。

この場合、区切り文字は「|」を使用しているが他の文字を使用してもかまわない。

また、ユーザー識別情報にはクッキーを利用しているが、名前とパスワードなどの他の情報を使用することもできるし、他の方法でもよい。また、ユーザー識別情報をユーザー I D として使用してもよい。前記ユーザー別バナーデータの構成を変えてもよい。

1 2 は前記ユーザー別バナーデータを保存した記憶装置であり、広告サーバーノードが利用する。

【 0 0 1 3 】

図 7 は、バナー I D と、それに対応する画像ファイル情報（以下、バナー画像情報）、そのバナー画像 6 とハイパーリンク機能でリンクする広告主コンテンツに関する情報（以下 広告主情報）を、データテーブルを形成して保存したもの（以下、バナーデータ）を示す図である。

1 3 は前記バナーデータを保存した記憶装置であり、広告サーバーノードが利用

する。

前記バナー画像情報、前記広告主情報の内容、および、前記バナーデータの構成は状況に応じて変えてもよい。

【0014】

図8は、前記カテゴリー別バナーデータ、前記ユーザー別バナーデータ、前記バナーデータを用いて、ユーザーノードで、ユーザーが広告カテゴリー選択インターフェイス8を用いて選択した結果の広告カテゴリー選択情報が、通信ネットワークを経由して広告サーバーノードで受け取られた後、どのように処理されるかを示す図である。ここでいうインターフェイスとはユーザーインターフェイスのことである。

広告カテゴリー選択情報は、広告サーバーノードのユーザーID別希望バナーID作成プログラム19が受け取り処理する。この実施例の場合、広告カテゴリー選択情報には、ユーザーの広告カテゴリー選択結果として、選択された広告カテゴリーIDを区切り文字を使って連結した文字列が含まれている。ユーザーID別希望バナーID作成プログラム19は、その文字列を分解して、個々の選択された広告カテゴリーIDを取り出す。次に、ユーザーID別希望バナーID作成プログラム19は、個々の選択された広告カテゴリーIDごとに、記憶装置11に保存されている前記カテゴリー別バナーデータから、対応する前記カテゴリー別バナーIDを取り出す。

次に、ユーザーID別希望バナーID作成プログラム19は、取り出した各々の前記カテゴリー別バナーIDを、区切り文字を使って連結しひとつの文字列にまとめる。さらに、ユーザーID別希望バナーID作成プログラム19は、そのまとめた文字列全部、あるいは、そのまとめた文字列を個々のバナーIDに分解したものからきめられた数のバナーIDをランダムに選択したものを区切り文字を使って連結した文字列を、新規のユーザーID別希望バナーID（以下、新規ユーザーID別希望バナーID）とする。次に、ユーザーID別希望バナーID作成プログラム19は、ユーザーノードから広告カテゴリー選択情報と一緒に送られてきたユーザー識別情報に一致するユーザー識別情報が、記憶装置12の前記ユーザー別バナーデータにある場合は、そのユーザー識別情報に対応するユーザ

ーIDのユーザーID別希望バナーIDを前記新規ユーザーID別希望バナーIDで置き換える。

一方、ユーザーノードから広告カテゴリー選択情報と一緒に送られてきたユーザー識別情報に一致するユーザー識別情報が、記憶装置12の前記ユーザー別バナーデータにない場合は、ユーザーID別希望バナーID作成プログラム19は、新規にユーザーIDを作成する。その新規のユーザーIDに結びつくユーザーID別希望バナーIDとして前記新規ユーザーID別希望バナーIDを保存し、また、その新規のユーザーIDに結びつくユーザー識別情報として送られてきたユーザー識別情報を設定する。

【0015】

図9は、前記カテゴリー別バナーデータ、前記ユーザー別バナーデータ、前記バナーデータを用いて、広告サーバーノードが、個々のユーザーノードからの送信要求に応じてインタラクティブバナー広告情報を形成し、それをユーザーノードに送信する流れを示す図である。

ユーザーノードからの送信要求は、送信バナーID選択プログラム14が受け取る。送信バナーID選択プログラム14は、ユーザーノードからの送信要求の際送られてきたユーザー識別情報に一致するユーザー識別情報が、記憶装置12の前記ユーザー別バナーデータにある場合は、そのユーザー識別情報に対応したユーザーIDのユーザーID別希望バナーIDを前記ユーザー別バナーデータから取り出す。

ユーザーID別希望バナーIDは、バナーIDを区切り文字で連結した文字列であるが、それを、送信バナーID選択プログラム14は処理し、設定した数のバナーIDをランダムに選び出して区切り文字で連結して送信バナーIDをつくる。

この際、送信バナーID選択プログラム14は、処理対象のユーザーID別希望バナーIDの文字列から、作成した送信バナーIDにあたる部分を取り除き、また、処理対象のユーザーID別希望バナーIDに結びついた前記選出済バナーIDの文字列に、作成した送信バナーIDを、区切り文字を使って連結する。これにより、同じバナーIDが連続して選出されることがないようになる。このとき

、ユーザーID別希望バナーIDの中のバナーIDがなくなったときや一定の個数より少なくなった場合は、送信バナーID選択プログラム14が、前記選出済バナーIDをユーザーID別希望バナーIDに区切り文字を使って連結し、前記選出済バナーIDを空にする。そうしてから、送信バナーID選択プログラム14は、ユーザーID別希望バナーIDを処理し、設定した数のバナーIDをランダムに選び出して区切り文字で連結して送信バナーIDをつくる。

以上により得られた送信バナーIDを、インタラクティブバナー広告情報を形成するプログラムであるインタラクティブバナー広告情報作成プログラム15が受け取る。インタラクティブバナー広告情報作成プログラム15は、送信バナーIDをバナーIDに分解して、それぞれのバナーIDに対応する前記バナー画像情報と前記広告主情報を記憶装置13の前記バナーデータから取り出す。また、記憶装置11の前記カテゴリ別バナーデータから広告カテゴリIDを取り出す。インタラクティブバナー広告情報作成プログラム15は、取り出した前記バナー画像情報、前記広告主情報、広告カテゴリIDをもとに、インタラクティブバナー広告情報を形成し、ユーザーノードに送信する。

この際、インタラクティブバナー広告情報作成プログラム15は、広告カテゴリIDをもとに、インタラクティブバナー広告の広告カテゴリ選択インターフェイス8に関する部分をつくり、また、前記バナー画像情報に基づき、前記バナー画像情報と対応する画像ファイルが保存してある記憶装置の画像ファイル名を特定し、その画像ファイル名及びファイルへのパスと前記広告主情報から、インタラクティブバナー広告のバナー画像6に関する部分をつくる。

ユーザーノードからの送信要求の際送られてきたユーザー識別情報に一致するユーザー識別情報が、記憶装置12の前記ユーザー別バナーデータにない場合は、インタラクティブバナー広告情報作成プログラム15は、記憶装置11の前記カテゴリ別バナーデータから広告カテゴリIDを取り出し、あらかじめ設定しておいた前記バナー画像情報とあらかじめ設定しておいた前記広告主情報を使って、インタラクティブバナー広告情報を形成し、ユーザーノードに送信する。

【0016】

以上、図5、図6、図7、図8、図9で説明した本発明の一実施例では、バナー

ID、広告カテゴリーIDの集まりを、バナーID、広告カテゴリーIDを区切り文字で連結した文字列かたちで扱っているが、ほかの方法でバナーID、広告カテゴリーIDの集まりを扱ってもよい。また、区切り文字として使う文字は任意に選んでよい。

また、前記カテゴリー別バナーデータ、前記ユーザー別バナーデータ、前記バナーデータの形式は、データテーブルに限らない。

また、前記カテゴリー別バナーデータ、前記ユーザー別バナーデータ、前記バナーデータを、統合したデータとして扱ってもよいし、逆に、分解して扱ってもよい。また、データの保存先も任意に選んでよい。

また、ユーザーID別希望バナーIDから送信バナーIDを選出する方法はここで示したものに限らず他の方法でもよい。

また、送信バナーIDからインタラクティブバナー広告情報を形成する流れも、ここで示したものの以外の手順を踏むものでもかまわない。

また、必ずしも前記カテゴリー別バナーデータ、前記ユーザー別バナーデータを形成し保存する必要はなく、ユーザーノードからの広告カテゴリー選択情報を広告サーバーノードが処理し、ユーザーIDごとに送信バナーIDを選出し、それをもとに、ユーザーIDごとにインタラクティブバナー広告情報を形成する過程、および、その際に、ユーザー識別情報からユーザーIDを特定する手順は、ここで示す方法以外でもよい。その際は、ユーザーIDにユーザーが選択した広告カテゴリーIDの集まりを結びつけた情報、広告カテゴリーIDにその広告カテゴリーを選んだユーザーIDの集まりを結びつけた情報、ユーザーIDにユーザーが選択したバナーIDの集まりを結びつけた情報、バナーIDにそのバナー画像を選んだユーザーIDの集まりを結びつけた情報、バナーIDにそのバナーIDの属する広告カテゴリーIDの集まりを結びつけた情報、広告カテゴリーIDにその広告カテゴリーに属するバナーIDの集まりを結びつけた情報から必要なものを選択して使用するプログラムを用いればよい。

【0017】

図10は、請求項16記載のバナー広告配信システムのユーザーノードの端末機に表示されるインタラクティブバナー広告の一構成例を示す図である。

この実施例で、ユーザーノードからの広告カテゴリ選択情報が広告サーバーノードで処理され、ユーザーIDごとに送信バナーIDが選出され、それをもとに、ユーザーIDごとにインタラクティブバナー広告情報が形成される過程、および、その際に、ユーザー識別情報からユーザーIDを特定する手順は図5、図6、図7、図8、図9で説明したとおりである。

また、この実施例で使用する広告カテゴリ選択インターフェイス8は図2、図4で説明したものと同一である。

この実施例の場合、電子掲示板のトピックを管理するユーザー（以下、トピック管理者）には、ユーザー個人としてのユーザーIDのほかに前記トピック管理者としてユーザーIDを与える。これにより、前記トピック管理者は、自分が管理するトピックにふさわしいバナー画像6を選択し、そのトピックを介して形成されるユーザーコミュニティに提示する。

図10は、インタラクティブバナー広告の画面表示内容の一例である。ウィンドウあるいはフレームあるいはインラインフレーム5に、インタラクティブバナー広告を構成する要素が多層的に配置されている。2個のバナー画像6が電子掲示板を構成する要素の前面に配置されている。電子掲示板を構成する要素として、発言アイコン16が表示される。個々のバナー画像6および個々の発言アイコン16は、それぞれ独立して、ユーザーの操作により表示位置を移動できる。また、ユーザーが指示したバナー画像6あるいは発言アイコン16は自動的に最前面に表示されるようにすることもできる。発言アイコン16の中には発言のタイトルが表示されている。また、返信と返信先との関係を示すために、返信先の発言アイコン16と返信した発言アイコン16は、返信関係を示す線分で連結されている。この電子掲示板は、発言のつながりが視覚的に理解できるように表現されている。このように、バナー画像6は、この電子掲示板と一体化され表現されている。また、広告カテゴリ選択インターフェイス8を表示させるためのコントロール9と並んでバナーの表示モードを切り替えるためのボタン（以下、バナー表示切り替えボタン18）がある。この前記バナー表示切り替えボタン18を使って、ユーザーノードのユーザーは、自分個人向けのバナー画像と、前記トピック管理者が広告カテゴリを選択して設定した電子掲示板のトピックごとに形成

されるユーザーコミュニティ向けのバナー画像とを切り替え表示できる。

この実施例のインタラクティブバナー広告の初期画面で表示されるバナー画像は、前記トピック管理者のユーザーIDにもとづくもので、電子掲示板のトピックごとに形成されるユーザーコミュニティ向けのバナー画像である。前記バナー表示切り替えボタン18をクリックすると、閲覧している当のユーザー個人のユーザーIDにもとづくバナー画像に切り替わる。さらにもう一度前記バナー表示切り替えボタン18をクリックすると、ふたたび、電子掲示板のトピックごとに形成されるユーザーコミュニティ向けのバナー画像が表示される。

ユーザーがバナー画像6をクリックすると、新しいウィンドウが開いて、そこにクリックされたバナー画像6とリンクした広告主コンテンツが開かれる。また、ユーザーが発言アイコン16をクリックすると、新しいウィンドウが開いて、そこにクリックされた発言アイコン16に対応する発言内容のコンテンツが開かれる。この場合、新しいウィンドウを開かずに、広告主コンテンツや発言内容のコンテンツを、バナー画像6が表示されているウィンドウあるいはフレームあるいはインラインフレーム5に表示してもよい。

この場合、バナー画像6の個数は2個に限らず自由に設定できる。また、返信関係を示す線分は表示しなくてもよい。

バナー画像6、発言アイコン16、広告カテゴリー選択インターフェイス8を表示させるためのコントロール9、前記バナー表示切り替えボタン18や他の画面表示構成要素の重なり具合や配置は自由に設定できる。また、使用するコントロールの形式はボタンに限らず自由に選定してよい。

また、広告カテゴリー選択インターフェイス8を表示させるためのコントロール9を使わずに、広告カテゴリー選択インターフェイス8を電子掲示板と並べて表示してもよい。

また、前記バナー表示切り替えボタン18をなくして、前記トピック管理者であるユーザーに、前記トピック管理者としてのユーザーIDのみを与え、他のユーザーにユーザーIDを与えず、電子掲示板のトピックごとに形成されるユーザーコミュニティ向けのバナー画像のみが表示されるようにしてもよいし、逆に、電子掲示板のトピックごとに形成されるユーザーコミュニティ向けのバナー画像で

はなく、ユーザーノードごとに選別したバナー画像が表示されるようにしてもよい。

【0018】

図11は、図10で示した実施例で、電子掲示板の発言を、データテーブルを形成して保存したもの（以下、発言データ）を示す図である。このデータテーブルの列は、発言ID、発言日付、発言のタイトル、発言者名、発言内容、発言アイコン16のX座標位置、発言アイコン16のY座標位置で構成されている。

発言のタイトル、発言アイコン16のX座標位置、発言アイコン16のY座標位置をもとに発言アイコン16を形成し、発言ID、発言日付、発言のタイトル、発言者名、発言内容から発言内容のコンテンツを形成する。

17は前記発言データを保存した記憶装置であり、広告サーバーノードが利用する。ただし、発言アイコン16、発言内容のコンテンツを形成するために使用するデータの形式は、前記発言データの形式に限らず、実施環境等に配慮して他の方法をとってもかまわない。

以上の実施例の説明および請求項で用いた「コンテンツ」と「ホームページ」という言葉は同じ意味の言葉であり、通信ネットワークを介してサーバーからユーザーノードに送信される情報の基本単位であり、ユーザーノードのクライアント端末に表示される情報の基本単位であるウェブページのことである。本来は、「ページ」と記述するのが正確ではあるが、現状では、一般に「コンテンツ」と「ホームページ」という言葉が用いられているので、それを採用した。

【0019】

【発明の効果】

以上説明したように、この発明によれば、個々のユーザーは、自分が希望するカテゴリーのバナー広告のみを次々に受け取ることができる。また、バナー広告と、ユーザーが自分の受け取りたい広告のカテゴリーを選択できるインターフェイスとが結合して一体化しているので、ユーザーは、自分が希望する広告のカテゴリーを選択し、その結果を即座に次回からのバナー広告内容に反映させ、自らが選択したカテゴリーのバナー広告のみを受け取ることができる。また、はじめの場合でもどのように自分の希望を出すのかがすぐわかり、希望を更新する場

合も更新の仕方がわからなくなることはない。

また、バナー広告更新のためのコントロールが表示されているため、ユーザーは、次々にバナー広告を見ていく仕組みを容易に理解でき、次々に、自らが選択したカテゴリーのバナー画像6を見てゆけるので、本バナー広告配信システムを情報収集手段として利用できる。その結果、バナー広告の表示数は従来のものよりはるかに増える。

以上の結果、ユーザーのバナー広告への関心および参加意識が高まり、頻繁に本バナー配信システムを利用するようになる。広告の訴求効果、及び、広告主のサイトにユーザーを誘導する効果も高まり、広告送信側の利便も増大し、結果的に、通信ネットワークにおける広告の2側面の利便、つまり、広告送信側の利便と、ユーザーの情報収集手段としての利便を、同時にもたらすことができる。

【0020】

また、電子掲示板とバナー広告を一体化させた実施では、電子掲示板というユーザーが繰り返し閲覧するコンテンツにバナー広告を表示することで広告露出頻度が高まるだけでなく、バナー画像6が当該トピックを管理するユーザーによって選定されるので、ユーザーはトピックというコミュニティの視点から広告情報を収集できる。また、バナー広告と電子掲示板が一体化した表現であるため、ユーザーは抵抗なく広告を受け入れることができる。また、電子掲示板を介して本バナー広告配信システムの存在を広めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

この発明の一実施形態の構成を示す図である

【図2】

ユーザーノードに表示されるインタラクティブバナー広告の構成の一例を示す図である。

【図3】

ユーザーノードに表示されるインタラクティブバナー広告の構成の別の一例を示す図である。

【図4】

図 3 で示されたインタラクティブバナー広告のインターフェイスの展開を示す図である。

【図 5】

カテゴリー別バナーデータの構成の一例を示す図である。

【図 6】

ユーザー別バナーデータの構成の一例を示す図である。

【図 7】

バナーデータの構成の一例を示す図である。

【図 8】

本バナー広告配信システムで、ユーザーノードからの広告カテゴリー選択情報が、広告サーバーノードでどのように処理されるかの一例を示す図である。

【図 9】

本バナー広告配信システムで、広告サーバーノードが、個々のユーザーノードからの送信要求に応じてインタラクティブバナー広告情報を形成する流れの一例を示す図である。

【図 10】

請求項 16 記載のバナー広告配信システムで、ユーザーノードに表示される、電子掲示板と一体化したインタラクティブバナー広告の構成の一例を示す図である。

【図 11】

電子掲示板と一体化したインタラクティブバナー広告で使用する発言データの構成の一例を示す図である。

【符号の説明】

- 1 広告サーバーノードのサーバー
- 2 ユーザーノードのクライアント端末
- 3 広告主ノードのサーバー
- 4 インターネット
- 5 インタラクティブバナー広告が表示されるウィンドウあるいはフレームあるいはインラインフレーム

6 バナー画像

7 リロードボタン

8 広告カテゴリー選択インターフェイス

9 広告カテゴリー選択インターフェイスを表示させるための

コントロール

10 広告カテゴリー選択インターフェイスを表示するウィンドウ

11 カテゴリー別バナーデータを保存した記憶装置

12 ユーザー別バナーデータを保存した記憶装置

13 バナーデータを保存した記憶装置

14 送信バナーID選択プログラム

15 インタラクティブバナー広告情報作成プログラム

16 発言アイコン

17 発言データを保存した記憶装置

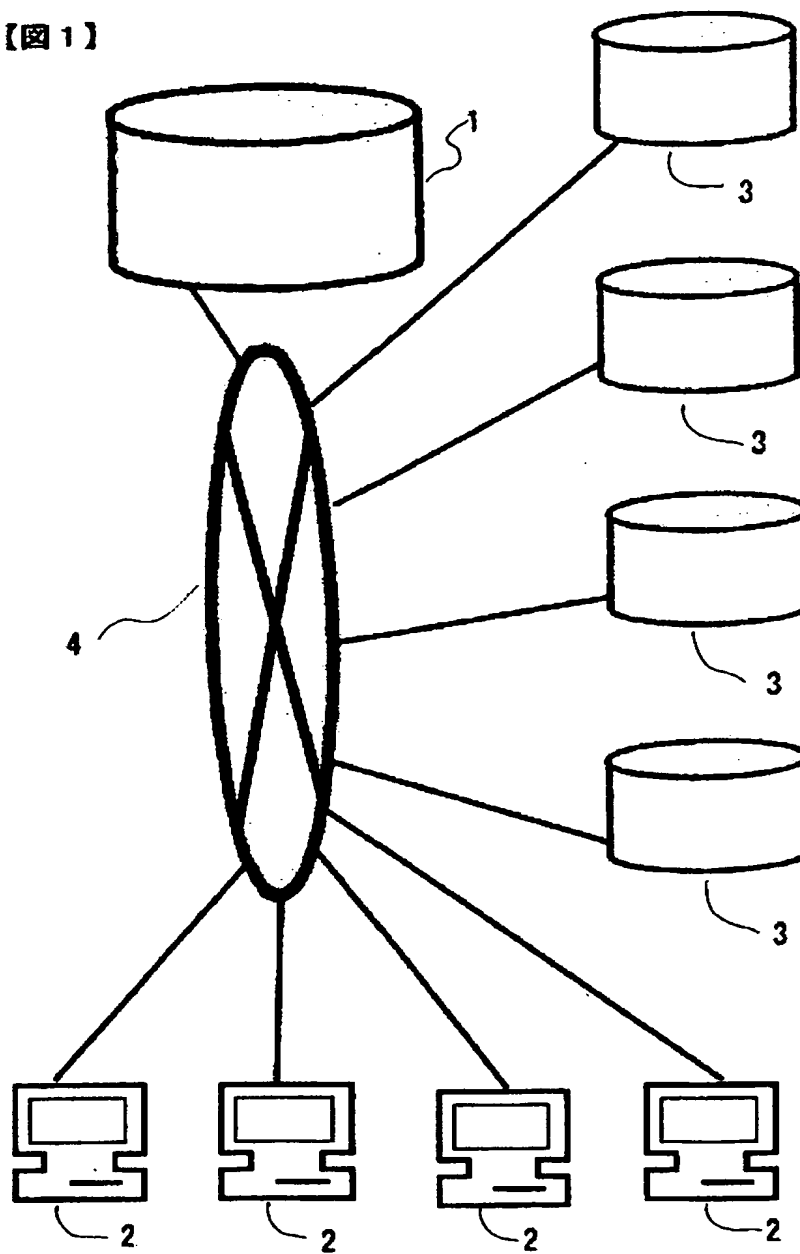
18 バナー表示切り替えボタン

19 ユーザーID別希望バナーID作成プログラム

【書類名】 図面

【図 1】

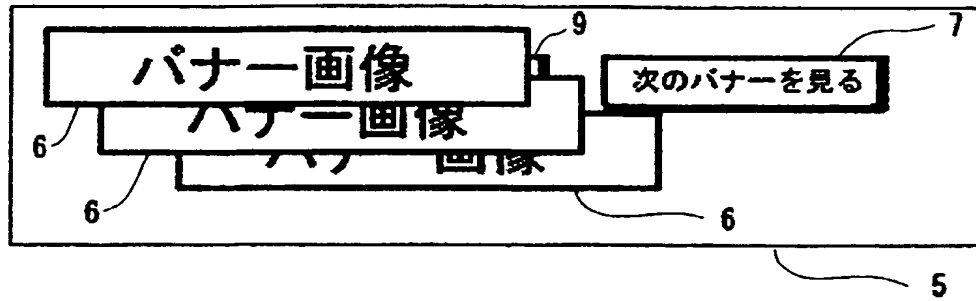
【図 1】



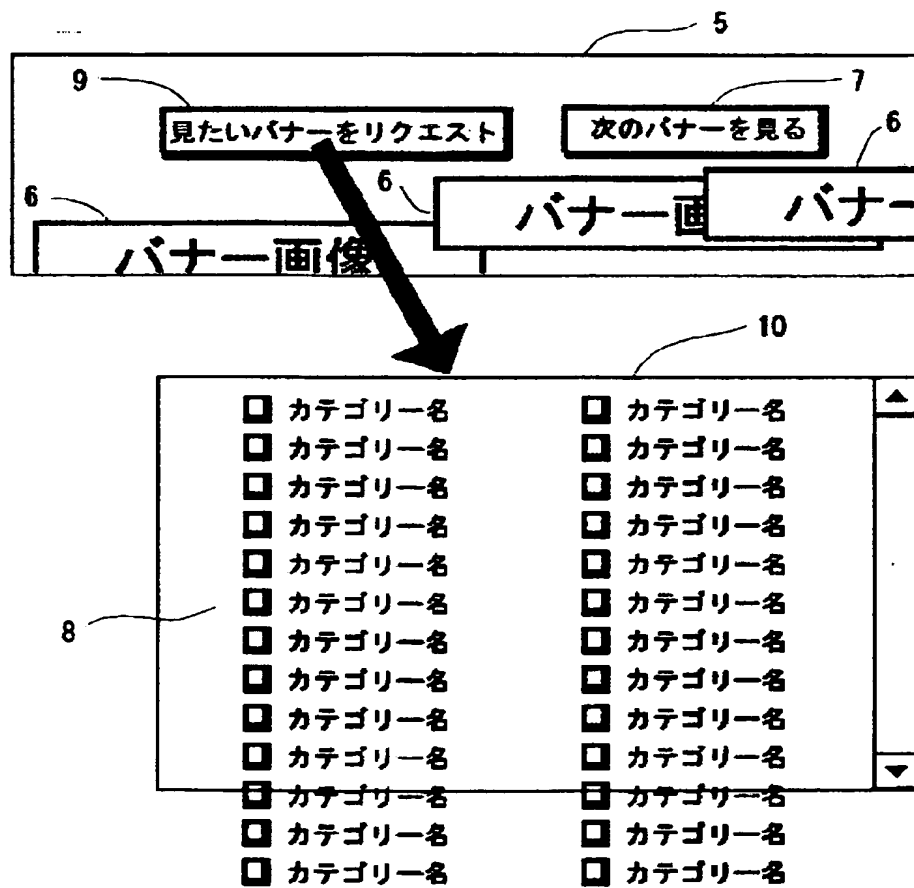
【図 2】

Figure 1 is a schematic diagram of a user interface for a banner image management system. The interface is divided into several sections. At the top, there is a header area (5) containing a search bar (7) labeled "バナーを見る" (View Banner) and a list of banner images (6) with labels like "バナー画像" and "バナー名". Below this is a main content area (8) displaying a grid of banner images, each with a category name (カテゴリー名) and a thumbnail image. The grid is organized into two columns. The left column shows a list of category names, and the right column shows a list of banner images. The interface is designed to allow users to view and manage banner images.

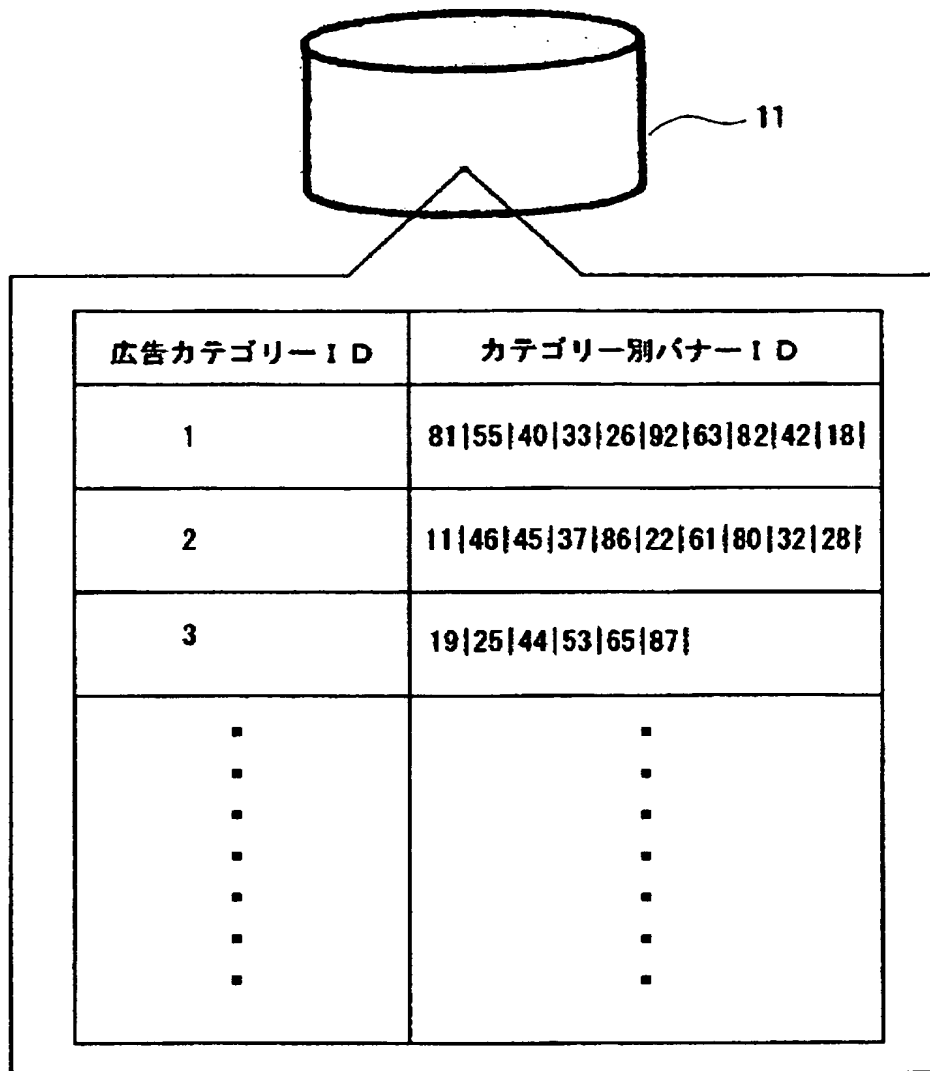
【図 3】



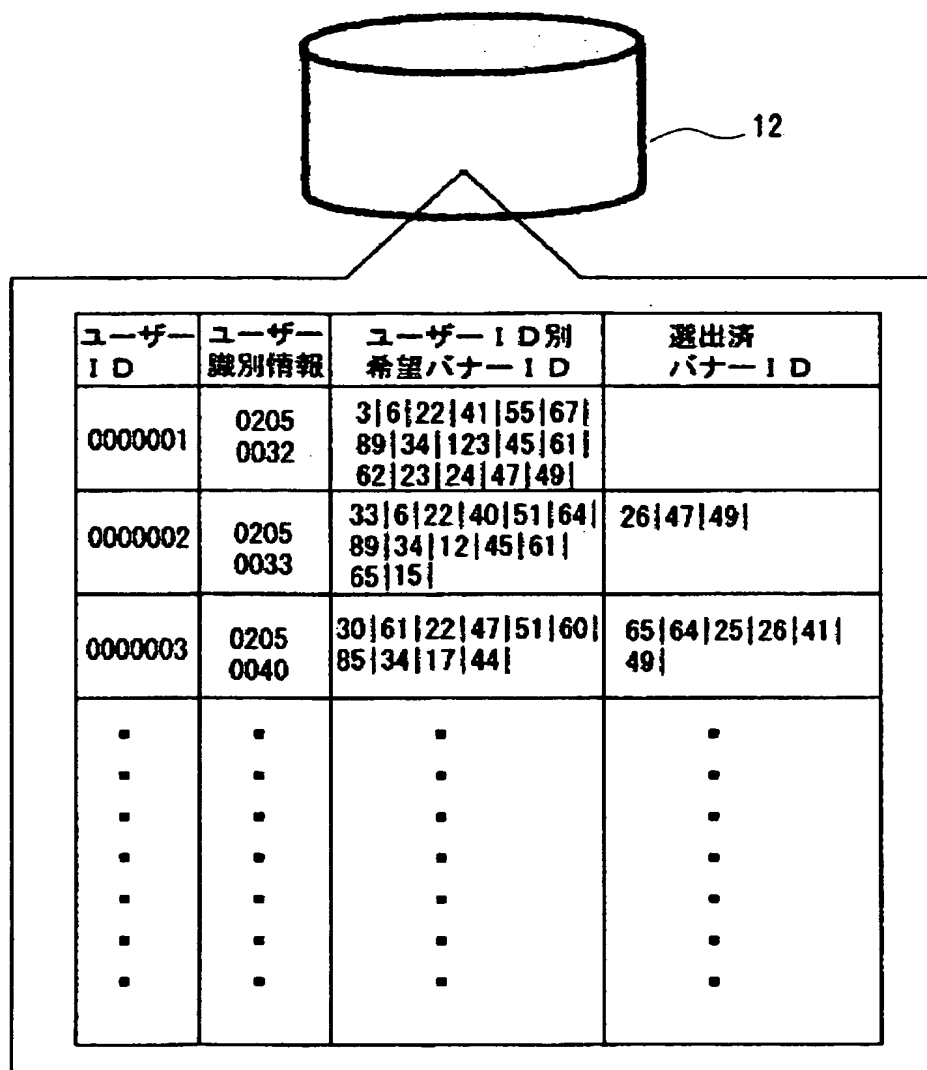
【図 4】



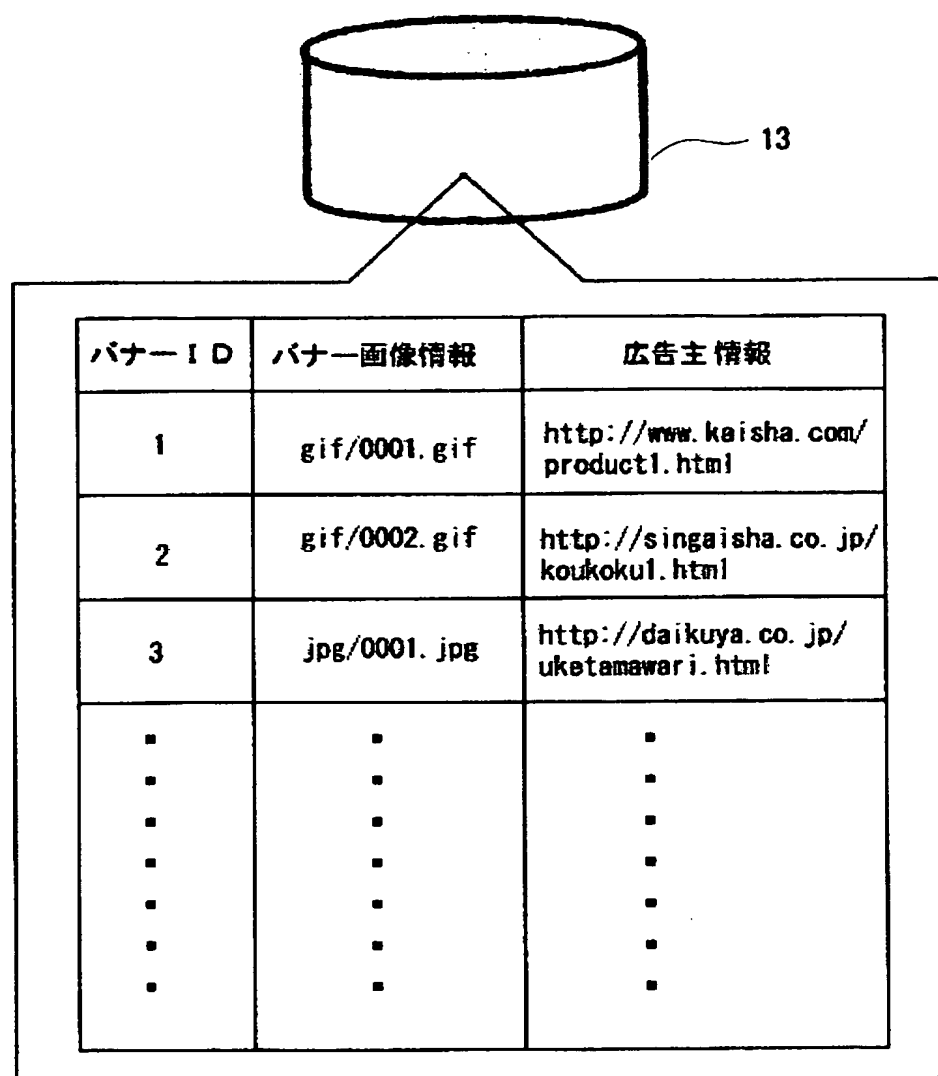
【図 5】



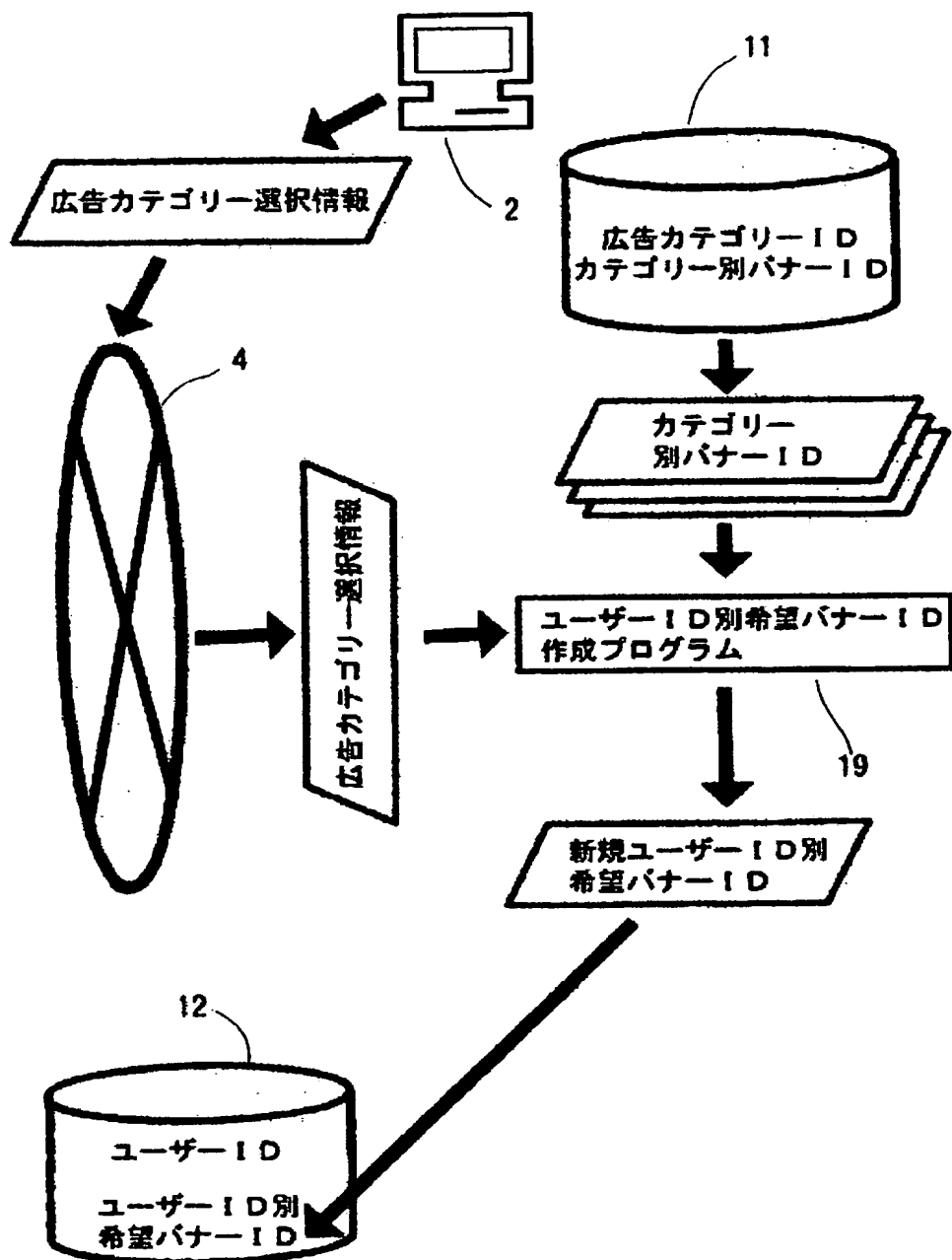
【図 6】



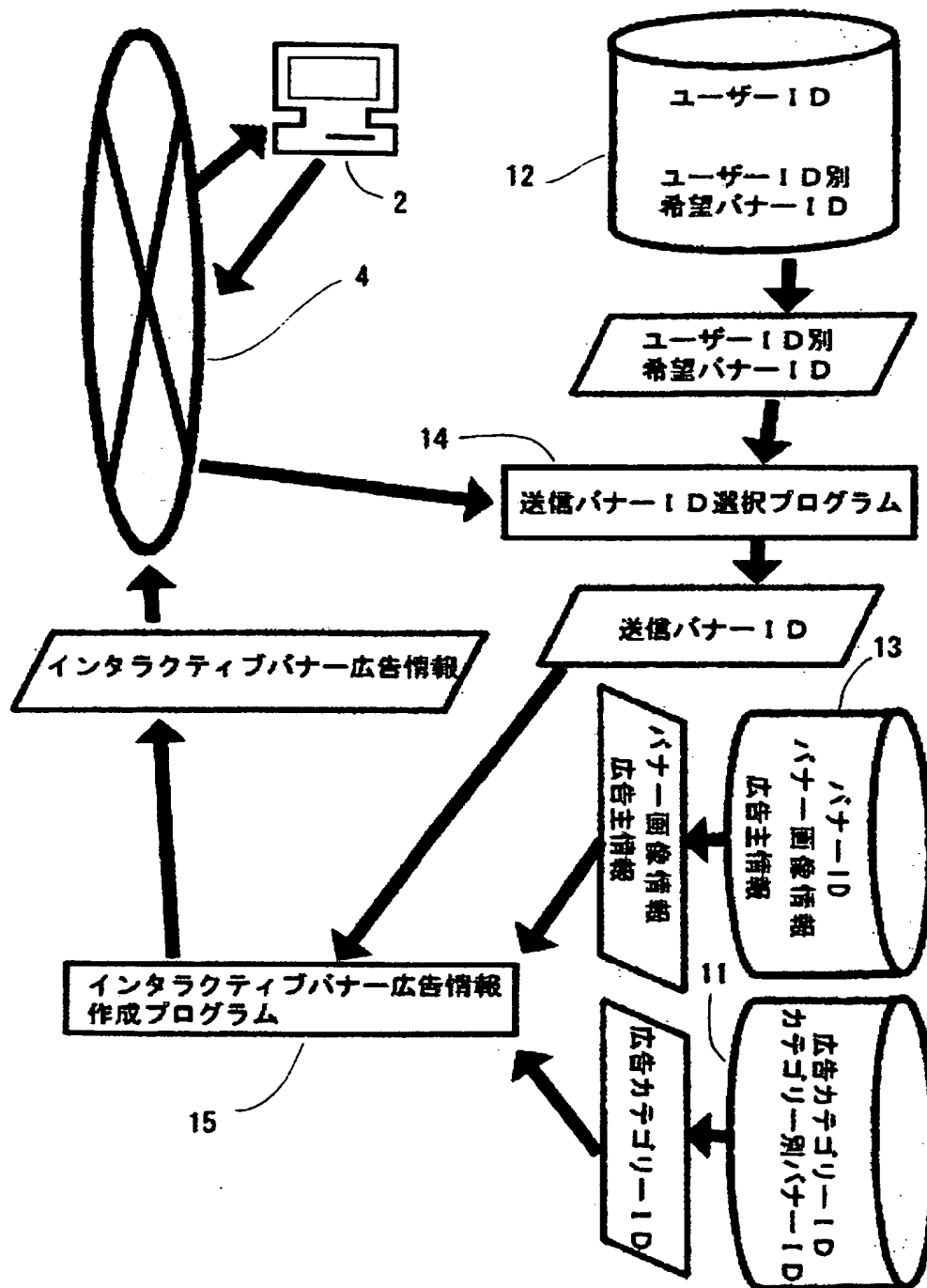
【図 7】



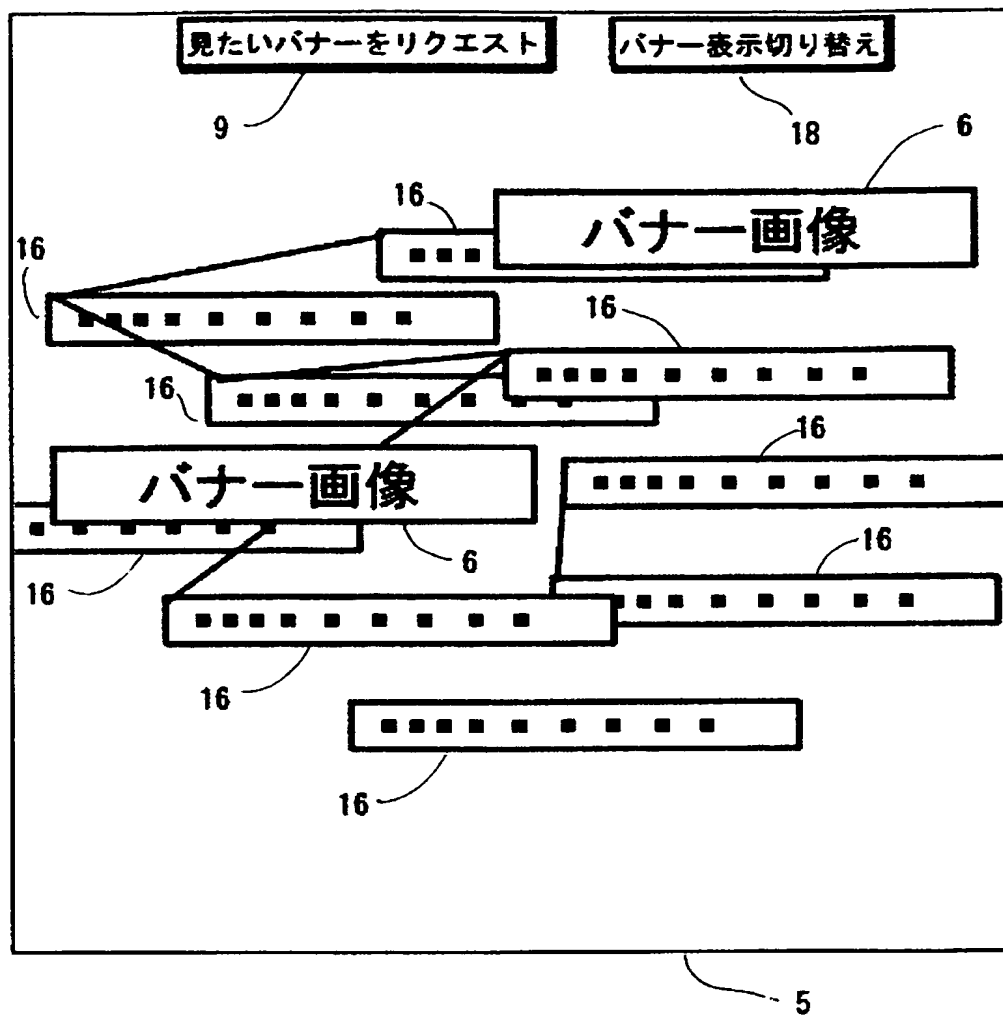
【図 8】



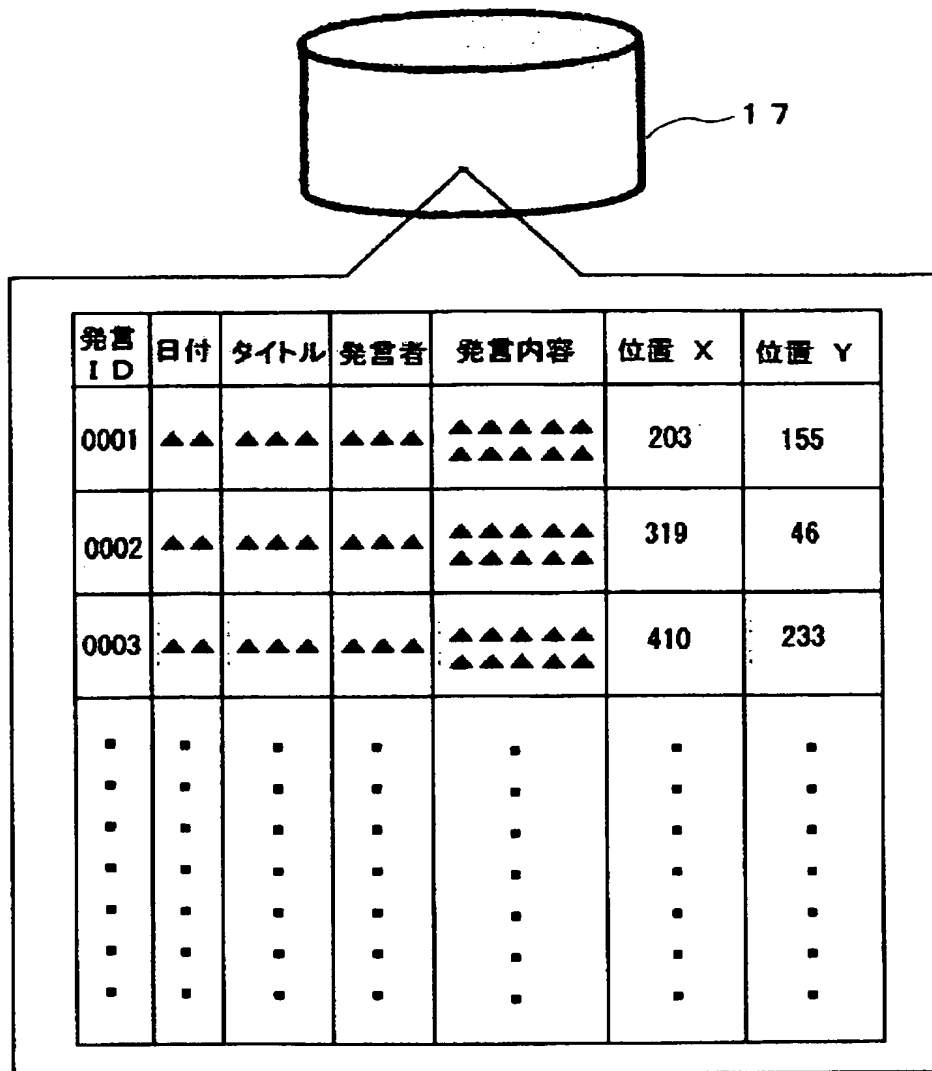
【図 9】



【図 10】



【図 11】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】従来技術によるバナー広告は、ユーザーが、自分の要望したカテゴリーのバナー広告のみを次々に見て情報収集していくことは出来なかった。

【解決手段】バナー広告と、ユーザーが自分の受け取りたい広告のカテゴリーを選択するインターフェイスとを結合して一体化することで、ユーザーが自分の希望する広告カテゴリーを簡単に選択できるようにする。また、はじめてのユーザーでも自分の希望する広告カテゴリーの選択の仕方がすぐわかるようにする。さらに、ユーザーが、表示されているバナー広告を更新して、自分が希望したカテゴリーのバナー広告を次々に見ることができるようになる。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 2 - 2 5 6 2 9 3
受付番号	5 0 2 0 1 3 0 3 6 0 6
書類名	特許願
担当官	第八担当上席 0 0 9 7
作成日	平成 1 4 年 9 月 3 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】	平成14年 9月 2日
-------	-------------

次頁無

【書類名】 手続補正書
【提出日】 平成16年 2月25日
【あて先】 特許庁長官殿
【事件の表示】
 【出願番号】 特願2002-256293
【補正をする者】
 【識別番号】 503302414
 【氏名又は名称】 高山 博光
【代理人】
 【識別番号】 100097216
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 泉 和人
【手続補正1】
 【補正対象書類名】 特許願
 【補正対象項目名】 発明者
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【発明者】
 【住所又は居所】 東京都板橋区板橋 1 - 2 2 - 6 - 4 0 4
 【氏名】 高山 博光

【手続補正2】
 【補正対象書類名】 特許願
 【補正対象項目名】 特許出願人
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許出願人】
 【識別番号】 503302414
 【氏名又は名称】 高山 博光
【その他】 出願人転居のため、発明者および出願人の住所又は居所を上記の
ように変更いたします。また、同日付にて識別番号重複届出書を
提出済みです。

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2002-256293
受付番号	50400302827
書類名	手続補正書
担当官	金井 邦仁 3072
作成日	平成 16 年 3 月 26 日

< 認定情報・付加情報 >

【補正をする者】

【識別番号】	598017192
【住所又は居所】	東京都板橋区板橋 1-22-6-404
【氏名又は名称】	高山 博光

【代理人】 申請人

【識別番号】	100097216
【住所又は居所】	埼玉県さいたま市大宮区下町 2-59-1 R K ビル 3 F スカイ特許事務所
【氏名又は名称】	泉 和人

特願 2 0 0 2 - 2 5 6 2 9 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [5 9 8 0 1 7 1 9 2]

1. 変更年月日 1 9 9 7 年 1 2 月 2 5 日
[変更理由] 新規登録
住 所 北海道札幌市豊平区美園 9 条 8 丁目 4 - 1 3
氏 名 高山 博光
2. 変更年月日 2 0 0 4 年 3 月 1 0 日
[変更理由] 住所変更
住 所 東京都板橋区板橋 1 - 2 2 - 6 - 4 0 4
氏 名 高山 博光